

信濃毎日新聞

号外

発行所 信濃毎日新聞社
長野本社
〒380-8546 長野市南条町657番地
電話(026) 受付236-3000
編集236-3111 販売236-3310
マーケティング(広告)236-3333
松本本社
〒390-8585 松本市中央2丁目20番2号
電話(0263) 代表32-1200
報道32-2830 販売32-2850
営業(広告)32-2860
©信濃毎日新聞社2025年

購読のお申し込み
フリーダイヤル
0120-81-4341
信濃毎日新聞デジタル
https://www.shinmai.co.jp

石破首相退陣表明

総裁選要求強まり

石破茂首相(自民党総裁)は7日、官邸で記者会見し、退陣する意向を表明した。参院選大敗を受け、閣内を含む党所属国会議員や地方組織に総裁選前倒し要求が広がり、政権運営が立ちゆかないと判断した。自民は早期に総裁選を実施し、後任選出を急ぐ。政権幹部は、首相が総裁選に出馬しないとの見通しを示した。

首相は7月の参院選大敗直後「政治空白をつくるべきではない」と続投を表明。7月28日の両院議員懇談会と8月8日の両院議員総会で、日米関税交渉合意の実行を理由に続投方針を堅持した。

一方、自民は総裁選前倒しの是非を判断するため党内手続きに着手。8日に前倒しを求める党所属国会議員から書面の提出を受け、都道府県連の要求と合わせて結果を公表する予定にしていた。

閣僚経験者や副大臣、政務官から前倒し要求が相次ぎ、臨時総裁選の実施に必要な過半数に達するとの見方が出ている。首相経験者の麻生太郎最高顧問や、石破内閣の鈴木馨祐法相も前倒しに賛成すると表明した。8日の意思確認は首相の辞任意向を受け中止される。

「ポスト石破」候補には、昨年の総裁選で首相と決選投票を争った高市早苗前経済安全保障担当相や小泉進次郎農相、小林鷹之元経済安保相、林芳正官房長官らの名前が取り沙汰されている。



記者会見する石破首相。退陣する意向を表明した＝7日午後6時、首相官邸

石破政権の歩み

2024年	10月1日	▶石破茂氏が首相に就任。第1次内閣発足
	9日	▶衆院解散
	27日	▶衆院選で自民、公明両党が過半数割れ
25年	11月11日	▶首相指名選挙の決選投票で首相が立憲民主党の野田佳彦代表を破る。第2次内閣発足
	2月25日	▶自公と日本維新の会が高校授業料無償化で正式合意
	6月22日	▶通常国会閉幕。企業・団体献金の存廃や選択的夫婦別姓導入に関する結論は持ち越し
	7月20日	▶参院選で自公が過半数割れ
	28日	▶自民両院議員懇談会で首相続投に批判
	8月27日	▶自民総裁選挙管理委員会が総裁選前倒しの是非を巡る党内の意思確認手続きを決定
	9月2日	▶自民の森山裕幹事長ら党四役が辞意
	7日	▶首相が辞意

詳細は
本紙で

この号外は
信濃毎日新聞
デジタルから
印刷できます

